



「見たり、聞いたり、探ったり」No.220

通算 No.372

青木行雄

日本最南端の有人島
「沖縄県・波照間島」探訪

北の北海道に「最果ての島」があるように、南にも当然存在する最果ての島^{はてるまじま}「波照間島」。有人島として正に南の最果てにある島なのである。

最西端の「与那国島」に行ったので当然、最南端の島に行きたいと好奇心にかられ行く事になった。では最南端の島「波照間島」はいったいどんな島なのか、大変気になる所である。そこで今回は、波照間島に関するすべてを紹介したいと書きはじめた。

波照間島とはどこにあるのか

波照間島は石垣島の西南北緯24度2分25秒、東経123度47分16秒に位置し、有人島としては日本最南端の島である。波照間の島名は「最果てのウルマ(サンゴ礁)」に由来していると言われている。緯度が低く周囲に人工的な灯りが極めて少ないため、日本国内では南十字星を好条件で観測できる数少ない島なのだ。

人口544人、面積12.77km²、周囲14.8km、最高標高59.5mぐらいで高い山がない。

この島にはホテルやリゾート施設などはなく、路線バス、信号もない。サトウキビ畑や自然のままのビーチ、昔ながらの家並みなどを見ながらのんびりと時を過ごしたい人には最適な島といえそうである。

旧暦7月14日(旧暦のお盆)には、先祖を供養し、豊作と安全を祈願して行われる「ムシャーマ」が島をあげて盛大に執り行われ、多彩な芸能が奉納されるという。島を離れている人々も帰郷して祭りに参加する人が多くいるため、この日は波照間島



※高速船が港に着く前に1ショット



※波照間の港、ペンションなどの迎えの車がかなりいた

が1年で一番賑やかになる日である。

波照間には島の中央に名石、富嘉、前、南、北の5つの集落がまとまって、267世帯の544人が生活している。

生活に最低限必要な日用雑貨、食料などを売っている共同売店と個人商店が数店あるだけで、フクギという木の並木とサンゴの石垣、赤瓦屋根の民家があちこちに残る静かな集落の風景は、街並みが保存されて観光客の多い竹富島とはまた違った印象を与えてくれた。

主な産業はサトウキビ栽培と製糖で、集落を一步出ると一面のサトウキビ畑が広がっている。右も左もサトウキビ畑である。

幼稚園・小学校・中学校・各1校で高校は石垣島か沖縄本土へ行くようである。

最近離島にもコンビニが多く見られるようになったが、この島にはまだ存在していない。

波照間へのアクセス、島内の移動について

この島への移動手段は船便しかない。石垣港離島ターミナルからである。地図を見ると波照間空港はあるが現在は使われていないと記されていた。

まず石垣港離島ターミナルより、安栄観光会社が運行する高速船で約60分程かかるが、便数は1日に夏季4便、冬季3便あるという。

年間を通して強風や高波が多く、高速船の欠航がよくあるといい、午前中は出たが午後は欠航という事例は多々あるらしい。

島内の移動手段は路線バスやタクシーなどが無い為、自転車やバイクを借りて移動することになるが、予約で観光地を廻る小型バスに乗ることが出来た。

この島へ行く時、島民からのお願い事がある。信号もない、小さな島なので、バイクや自転車で観光される場合、

※島の集落内は島民の生活の場なので、水着や露出の多い格好で歩かないようにする。

※お店に立ち入る際には、体をよく拭き、服についた砂を払ってください。

※夜間に大声で騒がないようご配慮をお願いします。

※御嶽^{うたき}や拜所は島民の大切な信仰の場所です。許可なく立ち入らないようお願いします。

等々が書かれていた。



※波照間島の地図、中央にまとまった集落の様子が良くわかる。面積12.77km²、周囲14.8km、最高標高59.5m

島言葉をひとつ。

はてるま島に来てくれて、「しかいとうに一ふあいゆー」(どうもありがとう)

また、おりたぼり〜！(また来てね)

まずなんといっても日本最南端の碑を

日本最南端の碑は、島の南側に位置する高那海岸にある。その先にはフィリピン諸島が広がり、世界とのつながりを実感出来る場所なのだ。思わず「今日本の最南端の丘に立っている〜〜ぞ」と。四方、海に囲まれた小さな島、南は太平洋の水平線が広がる遮るものは何もない南国の海、なんとも言葉に表現出来ない程感動と身震いが全身を虜にした。

最南端の碑のとなりに日本の旗をマークした碑がある。1972年(昭和47年)に祖国復帰を記念して建立され、日本最南端平和の碑も合わせて観ることができる。

日本全国の47都道府県から集めてきた石が散りばめられ、2匹の蛇行した蛇が絡み合うように並べられている。この意味としては「戦争で内地と離ればなれにならないように」という切なる願いが込められているという。平和を願う気持ちが強い日本だが、このまま何事もなく美しい景観を保ち続けて欲しいものである。この蛇行も強い感動を覚える。



※この近くに碑が3つあった。ここには観光客がかなりいた。それぞれ深い意味がある



※波照間の最南端に位置する「高那崎」の崖にある



※日本全国の47都道府県から集めた石が散りばめられて2匹の蛇が絡み合って並べられている



※上の蛇行した蛇のオブジェの先がこの碑になる



※高那崎にある石碑には観光客がかなりいて、賑わっていた

すぐ近くに「星空観測タワー」があった。

日本では「星空に一番近い島」として南十字星を観測できる建物がある。屋上に設けられた開閉式の天体ドームが見事で、200mm屈折式望遠鏡が設置され、素人ではとても持ち合わせできない望遠鏡で天体観測をすることができる。尚、館内では「星空ガイド」という企画も設けられ、星にまつわるお話を聞きながら夜空を眺めることが可能だという。

2階にはプラネタリウムや資料室もある。今回は誠に残念だったが、石垣島から日帰りコースで、この近くまで行ったが中に入る事が出来なかった。夜の波照間でゆっくり南十字星を見ながら、夢を追いかけるのも楽しい人生の一時かとも思ったが残念。

波照間島高那崎は星空観測タワーのすぐ先に行くくと広がる断崖絶壁の場所、息をのむほど美しい海が白い荒波に変わり、岩を打ち砕くかのように体当たりする姿に迫力を感じる。広大な太平洋の荒波を真のあたりに見られる場所、風が強いので、真下を覗くのは危険である。

波照間の観光スポットに「北浜」と書いて「ニシハマ」と読むビーチがある。この北浜は八重山屈指の極上ビーチと言われ、透明度はもちろん波も穏やかで泳ぎやすいといわれている。泳がなくても裸足になって水遊びするのも楽しいと思う。



※星空観測タワー。日本最南端の南十字星が美しい所である



※太平洋に面した断崖絶壁の海岸。息をのむほど美しい海が白い荒波に変わり、岩を打ち砕くかのように体当たりする姿は迫力



※「北浜」ニシハマという。八重山で一番キレイと言われるビーチ。奥に見えるのが、波照間港

珊瑚石をらせん状に積み上げた「コート盛」という見晴台がある。このコート盛も観光スポットである。

17世紀半ば頃に八重山諸島全域に造られたと言われている遺構で、目的としては不審船などの通行を発見した場合、烽火によってすみやかに通報がされたと言われている。今は波照間島ではなくてはならない観光スポットとして残されており、頂上からは水平線やサトウキビ畑、西表島などを一望出来る。

この島に1ヶ所「波照間酒造所」がある。島の何人かで手作りの酒作りを始めた酒が、ここでは「泡波」といい、大変人気があり、手に入りにくい。沖縄の酒は全て「泡盛」というが、ここは泡波と呼んでいる。

日本最南端の駐在所がある。これも観光スポットであるが、「最南端」と言うだけで、特別な意義があるように思われる。玄関の上に日本地図が書かれて、最南端の場所まで、はっきりわかる。また、本土にある同じパトカーであるがここにあるのが何か特別な気がしてくる。「ハブより怖い飲酒運転」の幟旗に思わず、笑顔になる。「わろてんか」の朝ドラを思い出す。

また、町内にある「マンホール」を覗いて見るとマンホールの蓋に「日本最南端南十字星が輝く島、はてるま、おすい」と書かれていた。なんだか見るもの聞くものが新鮮で珍しく思えてくる。

コンビニのない島。日頃生活に最低限必要な日用雑貨を売る共同売店があって、共同で作る事の多い島。島内には雨水をためる「貯水池」が10ヶ所程あって水を大事にしている。島内には「立入禁止」区域10ヶ所をもうけ一般の人は入れない。その中に「保育所、幼稚園、小学校、中学校」を一ヶ所にもうけ立入禁止としている。島内全体が一つの家族みたいな共同体であるような、ファミリー的な島といえそうだ。



※コート盛、見晴台で珊瑚石を積み上げた上にのぼると水平線やサトウキビ畑など一望に見わたせる



※交番、「ハブより怖い飲酒運転」が目にとまる。1台のパトカー、入口の上部に日本地図が目にとまる



※汚水のマンホールである。この離島にこんなオシャレなマンホールだ

※ ベスマへおりたぼり
(波照間島へようこそ)

食事について

八重山で一番の美味しい、八重山そばも賞味した。

波照間の味処、「あがん」居酒屋となっていたがどうもレストランを居酒屋ともいい、酒もあるところから、この名を使うらしい。

そしてもう一つの大きなポイントは波照間でも入手困難で幻の銘酒と言われる「泡波」がグラスで味わえることである。そばとの相性も抜群で、この島に行ったら、「泡波」を味わおう。とにかく、自然が多く、民宿も18件程あるので泊まり掛けで行ってみよう。とにかく、日本最南端の島はみずみずしい。

「波照間島星空観測タワー」

住所〒907-1751

沖縄県八重山郡竹島町字波照間3905-1

電話 0980-85-8112

参考資料

波照間島パンフ

平成30年4月30日記



波照間島総合観光情報ポータル
出典：<http://www.haterumajima.net/>